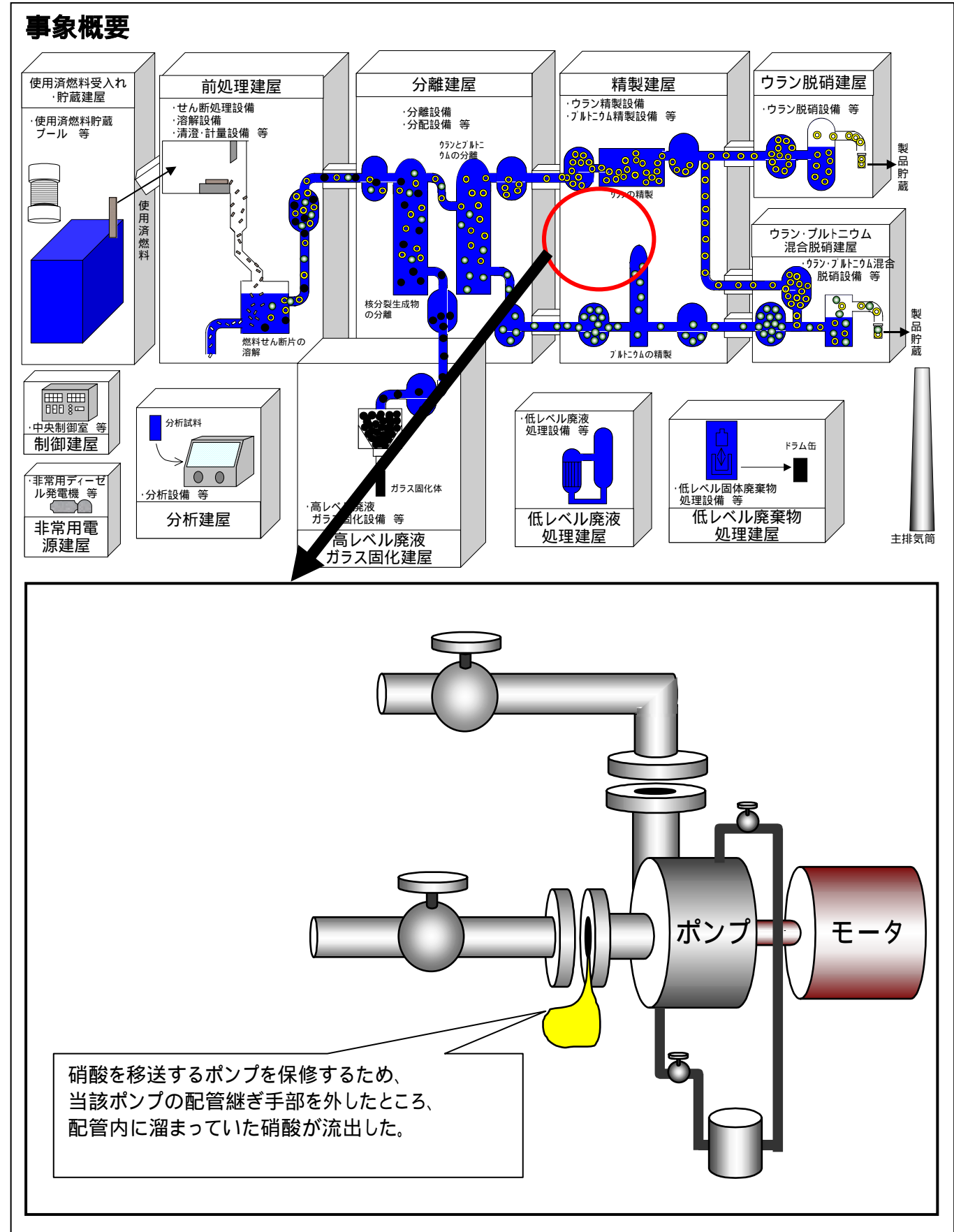


再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No. 2 - 9)

件名	10N 硝酸貯槽ポンプからの硝酸の漏えい									
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 精製建屋: 10N 硝酸貯槽ポンプ</p> <p>(2) 発生の状況 保守中</p> <p>(3) 概要 硝酸を移送するポンプを保守するため、当該ポンプの配管継ぎ手部を取り外す作業中、配管内に溜まっていた硝酸が流出</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な漏えいの発生が予想される。</p>									
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 放射性物質を含まない硝酸の建屋内漏えいであり、この事象及びそれに伴う復旧作業により放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 放射性物質を含まない硝酸の建屋内漏えいであり、また、定められた手順に従って漏えいした硝酸を回収することにより、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 放射性物質を取り扱わない復旧作業であるため、作業員へ影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 他工程への影響は生じない。 保守時における事象であり、他工程への影響は生じない。</p>									
対応の概要	<p>(1) 当該配管が接続配管から隔離されていることを確認する。</p> <p>(2) 配管内の液抜き及び流出した硝酸の回収を行う。</p> <p>(3) 定められた保守作業手順により、ポンプの保守を再開する。</p>									
公表区分	翌平日に公表(ホームページへ掲載)									
対応区分	<p>(a) 運転継続しながら復旧</p> <p>(b) 運転システムを切り替えて復旧</p> <p>(c) 当該機器を停止して復旧</p> <p>(d) 当該設備を停止して復旧</p> <p>(e) 影響範囲の設備を停止</p>	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <table style="text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td> </tr> </table> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部防出 工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: レベル0以下 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p>運転制限範囲からの漏洩等 多重防護の劣化</p>	0以下	1	2	3	4	5	6	7
0以下	1	2	3	4	5	6	7			



本事象は当該機器停止時の保守作業中に発生したものであるため対応区分該当なし。